

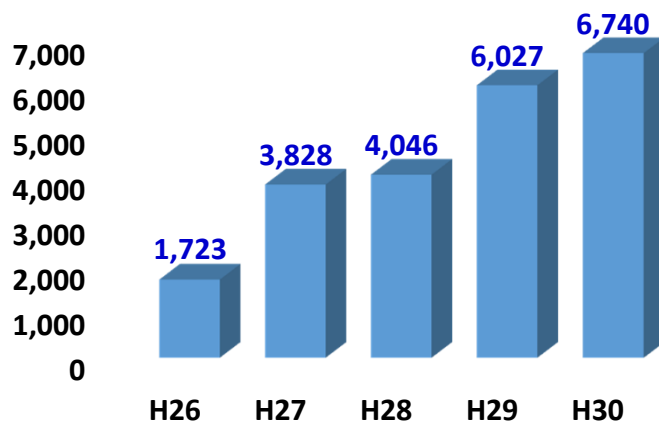
静岡県警察からのお知らせ！

～平成30年中のサイバー攻撃情勢～

企業や研究機関の重要情報を狙う「標的型メール」によるサイバー攻撃は、警察庁の確認で、平成30年中の1年間で6,740件(前年比11.8%増)と、通年の統計がある平成24年以降で最も多くなっています。

特徴として、標的型メール攻撃の送信元のメールアドレスはほとんどが偽装されており、添付されたファイル形式は、圧縮ファイル、実行ファイル(EXE)も引き続き多くみられるほか、前年と比較して、Word文書及びExcel文書の占める割合が増加し、マクロ機能を悪用したものや、脆弱性を狙ったものが確認されています。

標的型メール攻撃の件数の推移



【被害に遭わないために！】

標的型メール攻撃の被害に遭う原因は、悪意のある添付ファイルを開いてしまったことによるものです。不審なメールの添付ファイルを開いたりしないように情報セキュリティ教養を徹底しましょう。

参考サイト

(URL) 警察庁サイバー犯罪対策プロジェクト
<https://www.npa.go.jp/cyber/>



サイバー犯罪被害防止講演実施中

静岡県警察では、警察官が企業等に赴いて企業を狙ったサイバー犯罪に対する対策等のサイバーセキュリティ講話などを行っています。希望される場合には、下記の問合せ先まで連絡してください。

問合せ先

静岡県警察本部生活安全部
サイバー犯罪対策課 企画指導係
Tel:(代表)054-271-0110 (内線)711-3496